



容器製造工場における空調熱源設備更新に 電気式空冷ヒートポンプモジュールチラーの導入

この工場では、ISO9001の認証を取得し、品質マネジメントシステムの構築に継続して取り組んできましたが、品質面だけでなく環境経営を実践していく為にISO14001を認証取得し、製品および活動・サービスによる環境負荷低減（地球温暖化防止対策等）に積極的に取り組んでいます。

10年前に導入されたコージェネレーション設備から発生する温水を利用した空調用熱源設備を使用していましたが、急激な重油価格の高騰で発電コストは上昇し、併せてCO₂発生量も多いことから、エネルギー価格変動の少ない熱源システムを検討しました。

そこで、省エネ・省CO₂に優れた電気式空冷ヒートポンプモジュールチラーを導入しました。その結果、エネルギー使用量、エネルギー費用、CO₂排出量を削減することができました。

改善効果（設計上試算）

- 従来のシステムと比べて
 - ・年間一次エネルギー使用量：54%低減
 - ・年間エネルギー費用：64%低減
 - ・年間CO₂排出量：72%低減*

設備概要

- 空冷ヒートポンプモジュールチラー
：7.5kW×3台×6セット

※電気のCO₂排出係数：0.350kg-CO₂/kWh
（一般電気事業者使用端原単位（調整後）
2010年度実績）
A重油のCO₂排出係数：2.71kg-CO₂/ℓ

